

取り扱い注意情報

# 地域のクラスター感染の頻発の回避のための活動の提案について

令和2年3月22日

株式会社やさしい手

代表取締役社長 香取 幹

k.kakatori.y@sashiite.com

# 地域のクラスター感染の頻発を回避するために

- 医療機関、通所介護、通所リハビリテーション等を舞台とした、新型コロナウイルス感染において「利用者－利用者間」感染を中心とした、クラスター感染（小規模集団感染）の事例が増加しております。
- 高齢者介護分野では、高齢者施設よりも、通所介護や、退院支援患者を受け入れる在宅介護サービスにおいて、クラスター感染の患者の対応をおこなうことが増加しております。
- 国、都道府県、介護事業者団体、介護事業者が一丸となって、通所介護等事業所における、クラスター感染を最小に食い止める必要があります。
- 弊社の少ない事例をもって、分析するには困難な分野もあるとは考えます。全国的な蔓延を回避し、利用者に安心して利用いただくためにも、ご提案をさせていただきたくおもいます。
- 経験が不足しており、拙速な提案であります。ご意見をいただければ幸甚でございます。

株式会社 やさしい手 代表取締役社長 香取 幹

名古屋市守山区訪問介護事業所  
新型コロナウイルス感染検査  
陽性反応の利用者への対応の事例  
クラスター感染の接触経路を遡及して対応する。

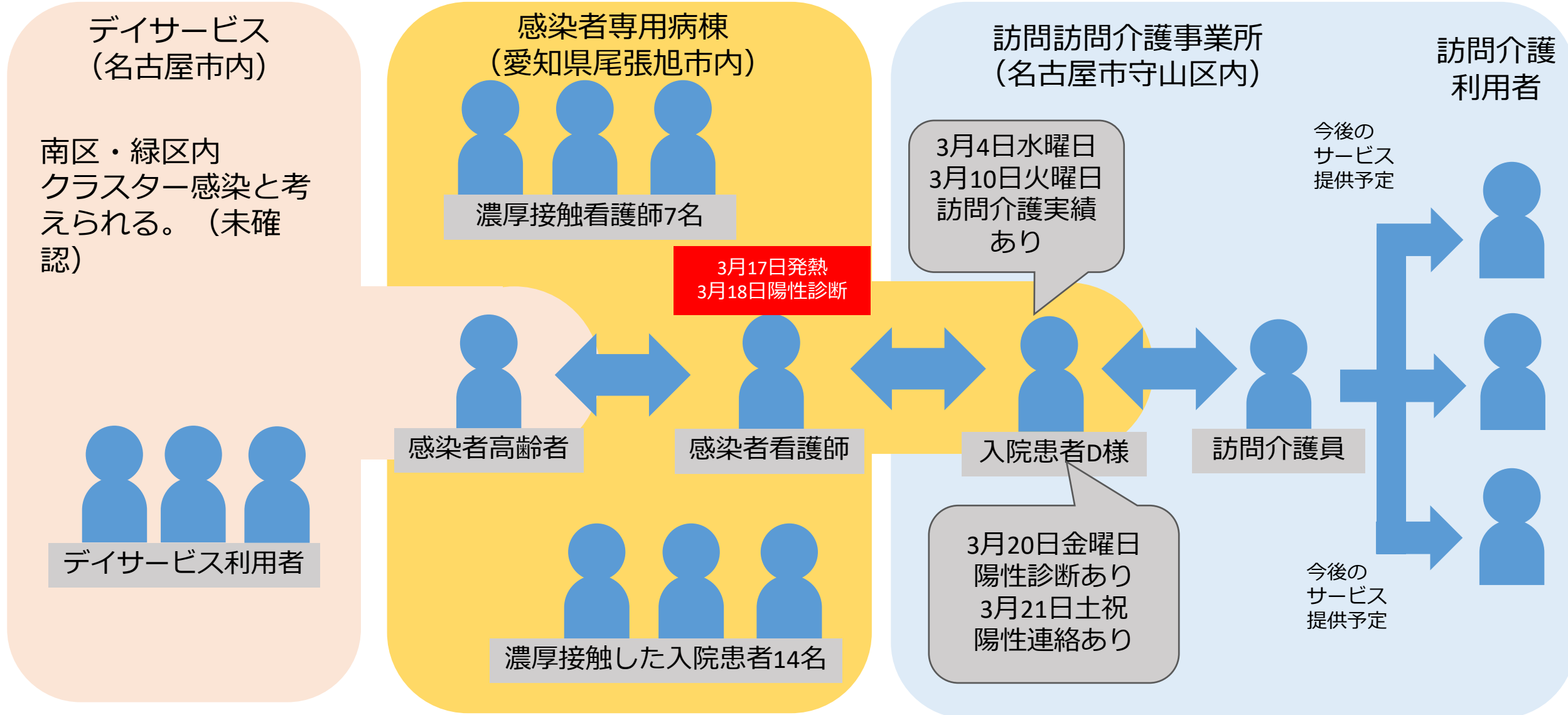
令和2年3月21日16時時点

株式会社やさしい手 代表取締役社長 香取幹

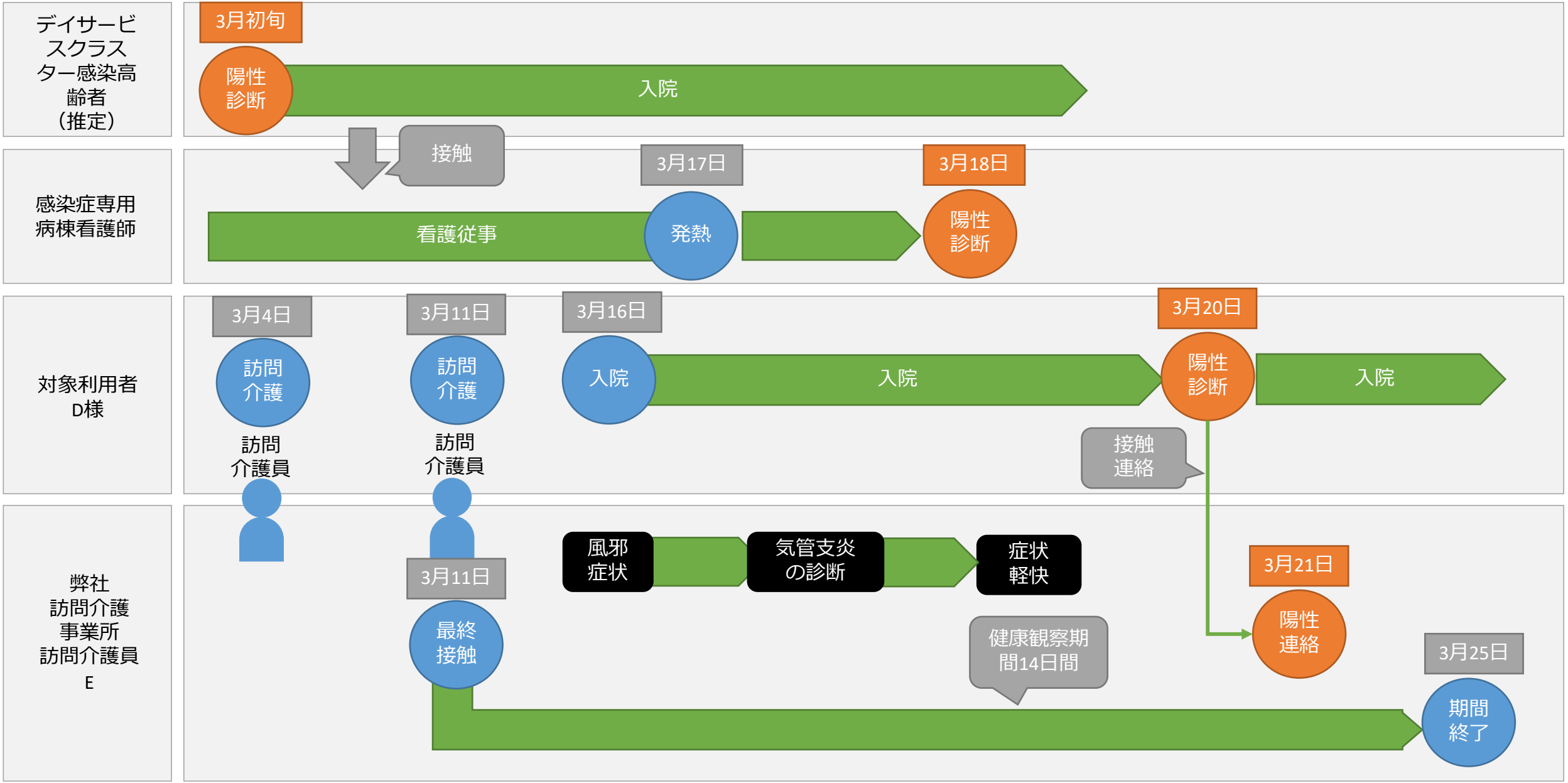
k.katori.y@sashiite.com

# 感染者と利用者の接触の関連についての説明図

今後の方針：訪問介護員は、健康観察期間内、念のため自宅待機をして、感染の可能性を分断する。



# 感染者と利用者の接触の関連についての説明図（時間の経過）



## 旭労災病院に関する報道

(報道情報から引用)

「愛知県尾張旭市の旭労災病院は19日、病院に勤務する40代の女性看護師が新型コロナウイルスに感染したと発表した。職員7人と患者15人が濃厚接触した疑いがあり、順次、遺伝子検査を受けている。症状を訴えている人はいないという。この女性看護師は、名古屋市内の福祉施設のクラスター（感染者集団）のルートで感染して同病院の感染症専用の病床に入院していた高齢者と接触があった。17日夜に発熱し、18日に遺伝子検査をして陽性が確認された。同市が18日に「40代女性」として感染を発表していた。病院は職員7人を2週間の自宅待機とする予定。外来は通常どおり診療を継続するが、新規の紹介を制限し、救急外来を縮小する。」

対象利用者のD様は、恐らくコロナウィルスに感染された看護師が濃厚接触した患者15名に該当されると思われます。

3月22日金祝、名古屋市守山区保健センターのF様より、電話があったとコールセンターより、弊社訪問介護事業所管理者Gさんへ連絡あり。

Gさん、事業所に出社され対応にあたって下さいました。以下、報告させていただきます。

利用者 D様

ケアマネ H居宅介護支援事業所 I様

訪問介護 弊社名古屋市守山区内訪問介護事業所

通所介護 J様

#### 1、守山区保健センターF様からの連絡内容

旭労災病院に3/16から入院中のD様からコロナウイルスの陽性反応が出た。検査は3/20に実施されて判明。今現在、D様本人からウイルスの症状は出ていない為、3/20（金）前に発症している可能性がある。入院前に接触している方に、風症状などあった方がいないか調査をしているとの内容であった。※退院日は未定

#### 2、D様への直近サービス状況

3月に入ってから実施したサービスは3/4、3/11。両日ともEヘルパーが対応している。

### 3、Eヘルパーへの対応

Gさんより、Eさんへ電話連絡し、サービス提供を行ってから体調の変化がなかったかを確認すると、3/11以降になるが、風邪の症状があり、林クリニックを受診した。結果は気管支炎との診断を受け、念のためレントゲンを撮ったが、特に肺炎などの症状は無かった。現在は回復しているとのこと。  
保健所F様からの指示に沿って3/25迄お休み頂くことを提案し了解を得ております。

### 4、守山区保健センターF様へGさんよりEさん聞き取り内容を報告

F様からは、旭労災病院で院内感染した可能性が高いが、断定はできない。念のため、Eヘルパーに3/25までお仕事を休んでいただけないかの提案を受ける。それまでに現状と変わりがなければ復帰して問題ないとの事。  
F様に、上司に報告し対策を講じる事と、Eヘルパーの連絡先をお伝えし、電話を切る。

※Eヘルパーへ再度連絡し、F様より連絡があったとお話を聞く。  
内容としては、こちらが聞いた内容と同じことを提案された様。



## 5、訪問介護員の労務的な対応

Eヘルパーの自宅待機について下記の内容について、検討する。

- (1) 自宅内部での感染予防のための消毒液、マスクなどの供給について対応。
- (2) Eさんの休業は、区の保健センターからの依頼を根拠として、会社命令の在宅待機として取り扱いたい。本来業務をおこなったとして、サービス就労予定の100%の支払いをしていただく。

## 6、まとめ

保健所と医療機関と連携して対応をおこなった。

接触経路を遡及して、感染者と接触した者を区分して、自宅待機などの隔離を行った。

介護職員、看護職員が媒介にならないための取り組みを行った。

地域の事業者と情報連携して対応を行った。

標準予防策の徹底をおこなった。

# 名古屋市市内訪問看護にて利用者濃厚接触者の可能性 がある利用者への対応の事例 クラスター感染の接触経路を遡及して対応する。

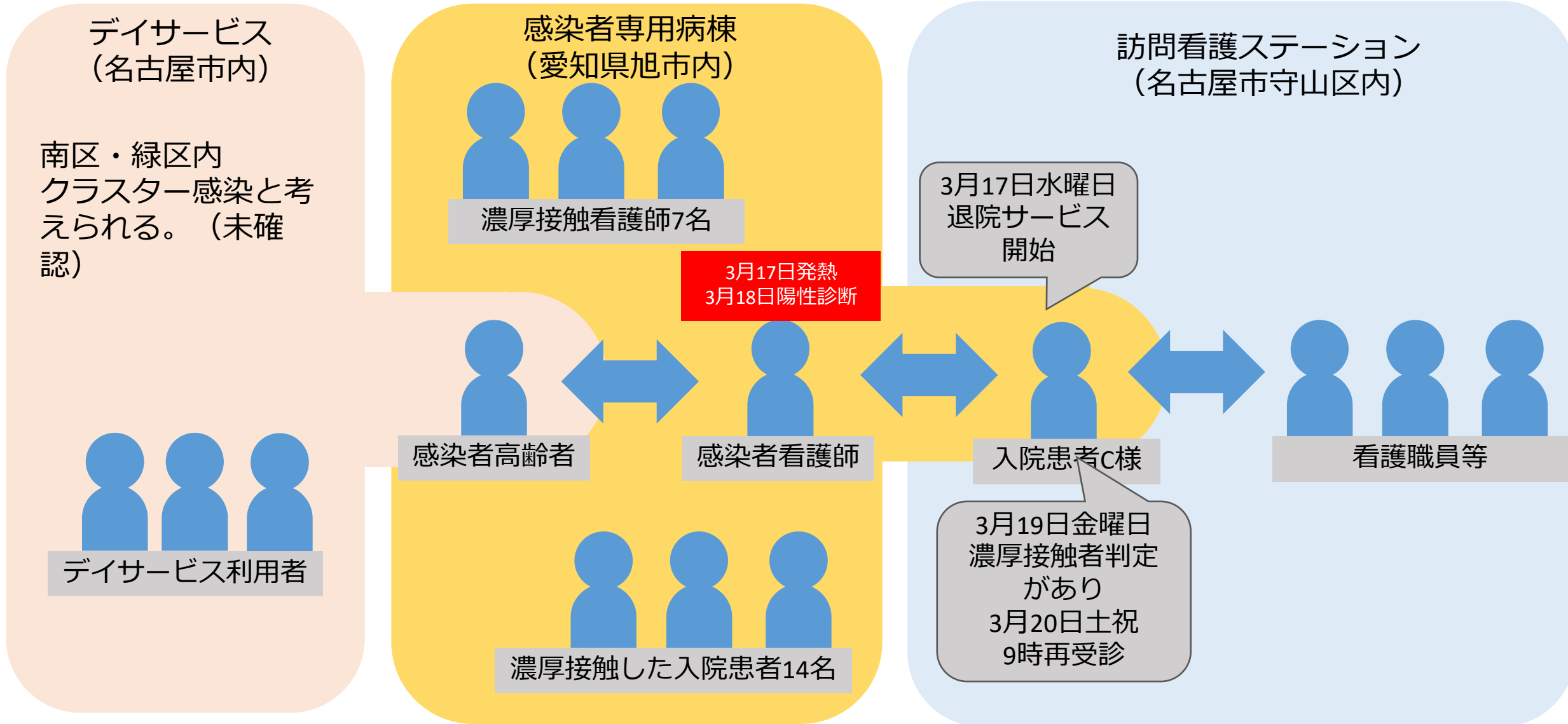
令和2年3月20日11時

株式会社やさしい手 代表取締役社長 香取幹

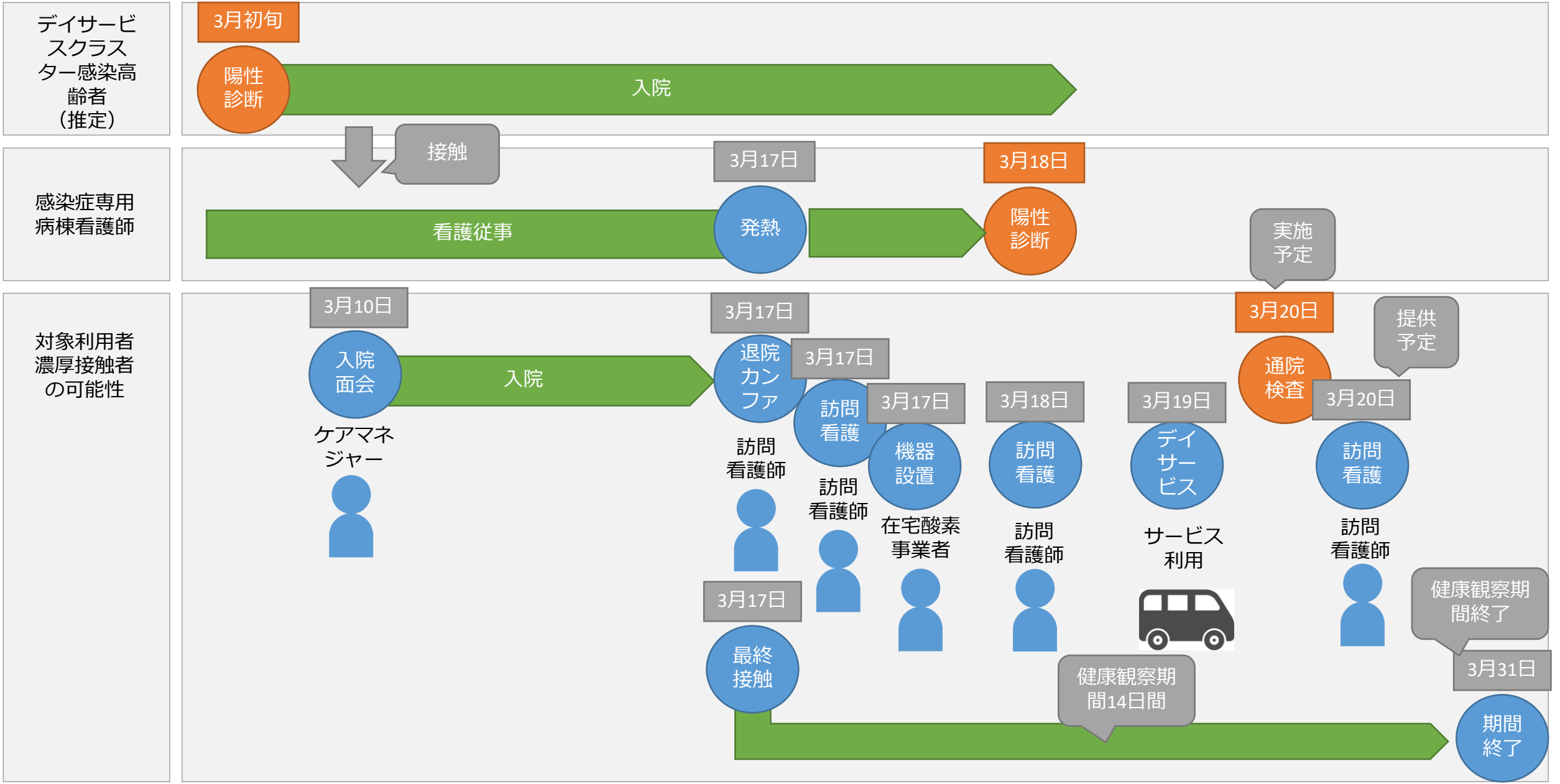
k.katori.y@sashiite.com

# 感染者と利用者の接触の関連についての説明図

今後の方針：退院直後の対象利用者について訪問看護のサービス利用回数を少なくして、家族による在宅酸素療法対応の講習等をおこないつつ、在宅療養を支援する。



# 感染者と利用者の接触の関連についての説明図（時間の経過）



## 1、濃厚接触者

C様 82歳要支援2奥様と2人暮らし娘様泊りで介護 間質性肺炎 在宅酸素導入、愛知県内急性期病棟を3/17に退院され在宅でサービスを開始される。

## 2、旭労災病院に関する報道

(報道情報から引用)

「愛知県尾張旭市の旭労災病院は19日、病院に勤務する40代の女性看護師が新型コロナウイルスに感染したと発表した。職員7人と患者15人が濃厚接触した疑いがあり、順次、遺伝子検査を受けている。症状を訴えている人はいないという。この女性看護師は、名古屋市内の福祉施設のクラスター（感染者集団）のルートで感染して同病院の感染症専用の病床に入院していた高齢者と接触があった。17日夜に発熱し、18日に遺伝子検査をして陽性が確認された。同市が18日に「40代女性」として感染を発表していた。病院は職員7人を2週間の自宅待機とする予定。外来は通常どおり診療を継続するが、新規の紹介を制限し、救急外来を縮小する。」

C様は、恐らくコロナウィルスに感染された看護師が濃厚接触した患者15名に該当されると思われます。

## 5、C様に関わった関係者

ケアマネ：弊社名古屋市内居宅支援事業所 介護支援専門員D

訪問看護：弊社名古屋市内訪問看護

主治医：愛知県内急性期病棟医師

福祉用具：確認中

通所介護：他社通所介護事業所

## 接触履歴の確認

3/10入院時面会 弊社介護支援専門員D

3/12退院カンファレンス 弊社看護師E

3/17訪問看護サービス 弊社看護師E

3/17退院時立会 弊社介護支援専門員D

3/17在宅酸素の事業者がHOTの機器設置F

3/18訪問看護サービス 弊社看護師E 看護師G

3/19 他社通所介護事業所利用

奥様同居 娘様自宅に宿泊しておられる。

息子様様夫妻、近隣在住

2020年3月20日

1、職員への伝達

併設の療養通所メンバーへ経過説明済み。

訪問看護メンバーへ経過説明済み。

2、訪問看護職員へ陰性の場合においてc様のサービスに行けるかヒアリング  
看護師E、看護師Gのみ承諾。

c様検査結果が陰性であった場合でサービス対応できますか。

- ・看護師E、「訪問できます。二次感染に万が一なるため利用者により控えるため呼吸器疾患の方は控えたい。」
- ・看護師G、「20日の検査結果が陰性であれば、行きます。3月21日日曜日に他の脊髄損傷の利用者への訪問看護があることが気にかかる。」
- ・看護師H、「c様は訪問しない。行きたくない。コロナがどういう病気なのか。娘様が難病を抱えているので」
- ・看護師I、「出勤はします。c様の訪問は控えたい。他の方のサービスはします。」
- ・看護師J、「c様訪問は控えたい。テレワークにしたい。」
- ・看護師K（非常勤）、「3月中はお休みしたい。」
- ・看護師L（非常勤）、「出勤を控えたい。3/23、3/25は休み。4/1休み希望。次回4/21出勤」

4、地域包括支援センターへ電話で報告済み。

#### 5、課題

- ・現状医療保険の訪問看護特別指示書によるサービス提供。
- ・退院直後、初めての在宅酸素利用、妻不安が多く「#状態観察」必要の判断のため毎日の看護の設定。
- ・それ以外の生活はなり立つ。状態は安定しており、奥様・娘様の介護力ある。
- ・入院急性期病棟医師との相談は早急に行い、在宅酸素の安定的な利用と看護のサービス提供について、再設定指示をいただく。（在宅酸素事業者、看護師、娘、妻による。機器操作の講習を行うこと提案したい。）
- ・他利用者に関する影響懸念、センシティブで高度要求の利用者、持ち込まない様にしているので、感染したら裁判沙汰になるのではないか。3月20日日曜日13時半よりサービスがある。（看護師Gより懸念）、
- ・マスクが不足。使い捨てエプロン7日分はある。
- ・職員と家族にコロナウィルス感染があった場合、労災保険申請（関連が明確である場合は対応できる認識）  
労災保険以外にも、会社としての補償について、検討する。
- ・通所介護事業所の利用者における、接触経路区分の支援が必要。
- ・弊社の利用者に通所介護利用者で同日利用者がいるか、確認する。
- ・緊急電話当番が、対応可能な看護師ではなかった場合の連絡フローを設定する。



## 6、陰性であった場合の想定（3月20日朝時点）

- ・訪問看護を利用している利用者に情報提供する。
- ・他利用者に関する影響懸念、センシティブかつ高度要求の利用者、持ち込まない様にしているので、感染したら裁判沙汰になるのではないか。3月20日日曜日13時半よりサービスがある。（看護師Gより懸念）
- ・高度要求の利用者は、説明責任のあり方について、弁護士に確認して対応する。
- ・マスクが不足。使い捨てエプロン7日分はある。（用意を急ぐ。）
- ・対応可能の看護師で、全体のサービス提供予定を組みなおす。
- ・緊急電話当番が、対応可能の看護師ではなかった場合の連絡フローを設定する。

## 7、陽性であった場合の想定（3月20日朝時点）

- ・当該事業所の訪問看護を利用している利用者に情報提供する。
- ・対象利用者へのサービス提供量をできるだけ少なくする。（在宅酸素操作手技移転などにより）
- ・サービス提供量を3月31日まで少なくする。

他利用者に関する影響懸念、センシティブかつ高度要求の利用者、持ち込まない様にしているので、感染したら裁判沙汰になるのではないか。3月20日日曜日13時半よりサービスがある。（看護師Gより懸念）

- ・高度要求の利用者は、説明責任のあり方について、弁護士に確認して対応する。
- ・マスクが不足。使い捨てエプロン7日分はある。（用意を急ぐ。）
- ・対応可能の看護師で、全体のサービス提供予定を組みなおす。

## 8、まとめ

保健所と医療機関と連携して対応をおこなった。

接触経路を遡及して、感染者と接触した者を区分して、自宅待機などの隔離を行った。

介護職員、看護職員が媒介にならないための取り組みを行った。

地域の事業者と情報連携して対応を行った。

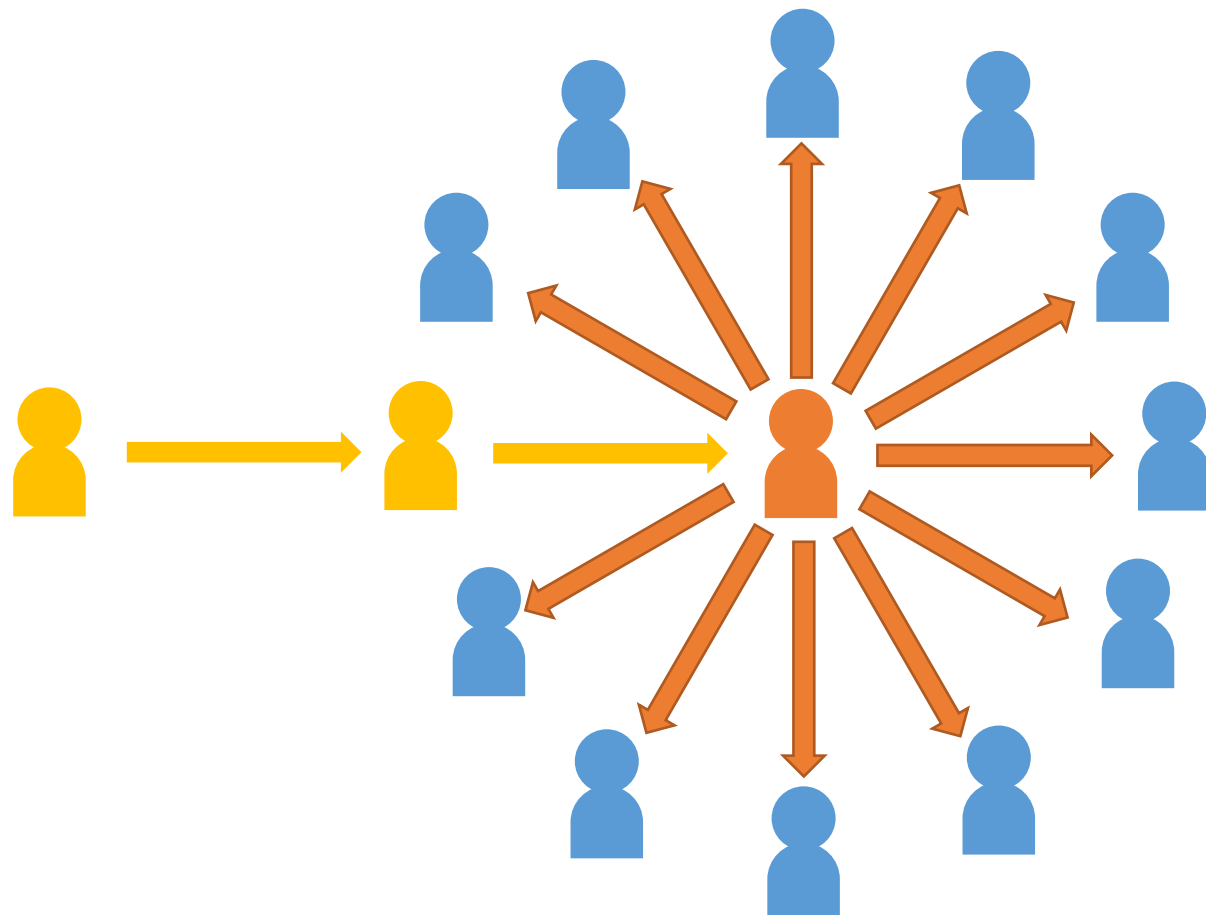
標準予防策の徹底をおこなった。

感染者を早期に見つけて接触経路を遡及してたどり、接触状況の区分して対応する。

クラスター対応戦略の概要（2020年3月10日暫定版）（日本公衆衛生学会感染症対策委員会）を活用して対応する。

## クラスターをどう見つけるか

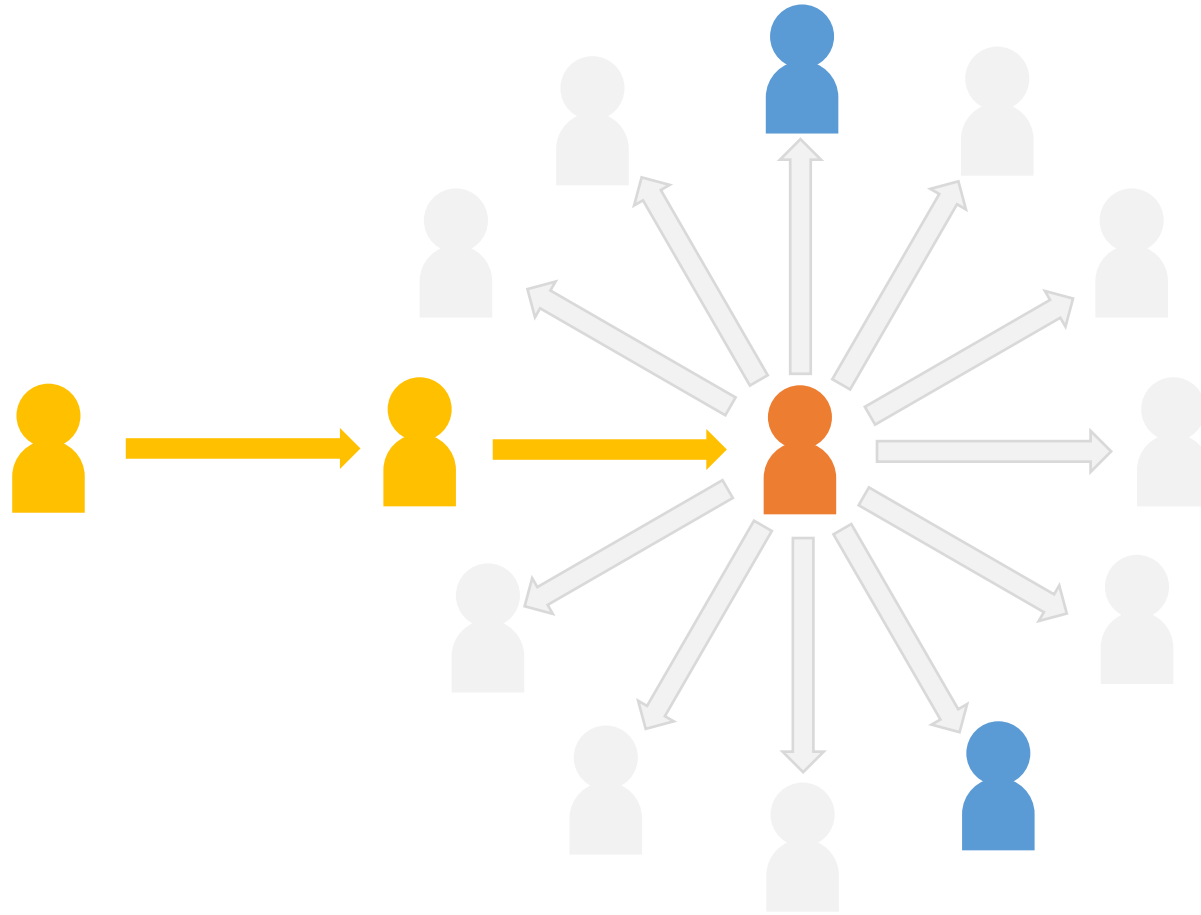
特に地域で複数の感染例が見つかった場合に、共通の感染源を「後ろ向きに探していく作業」が重要。地域の介護事業所、保健所、医療機関が情報連携して、対応する必要がある。



このようなクラスターがあったと仮定する。

## クラスターをどう見つけるか

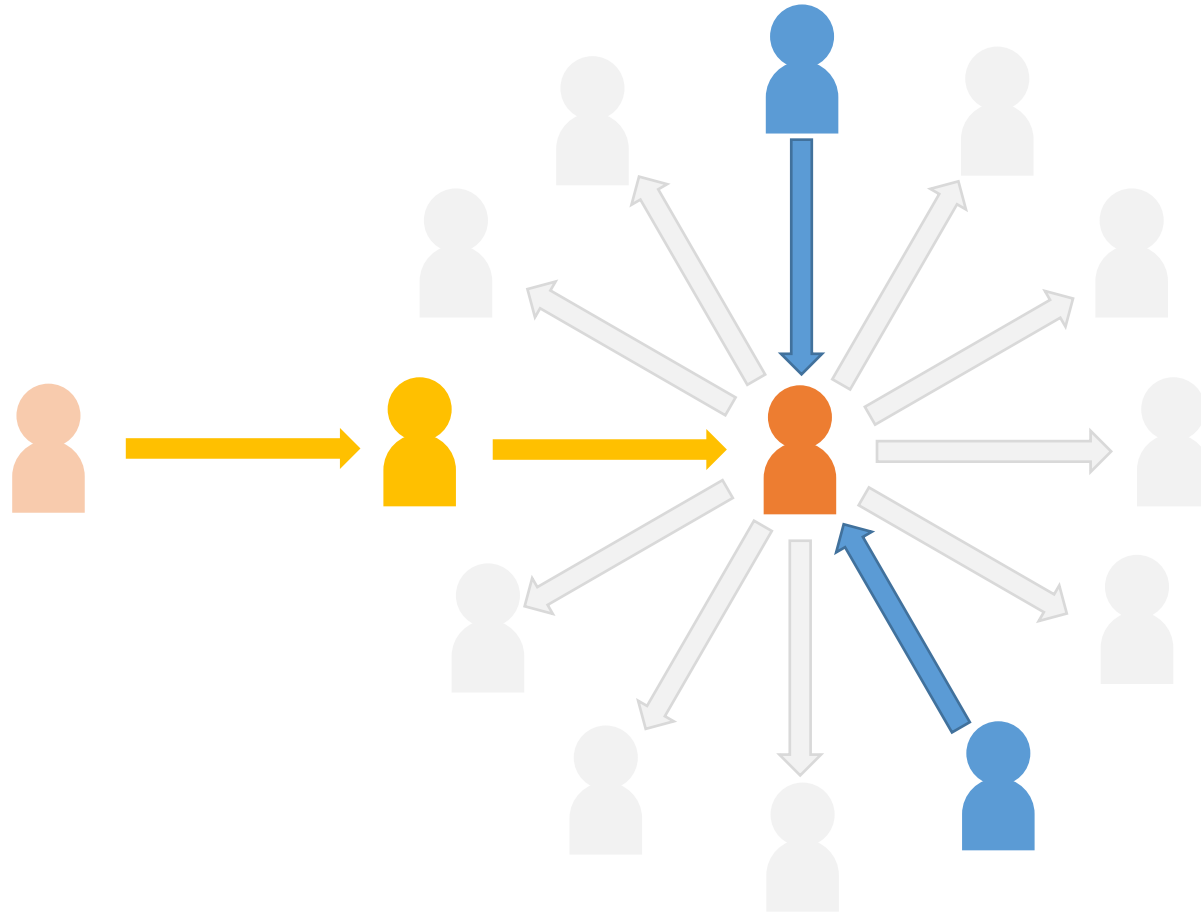
特に地域で複数の感染例が見つかった場合に、共通の感染源を「後ろ向きに探していく作業」が重要。



ある地域でリンクのない感染者が複数見つかった場合、クラスターはまだ見えていない場合がほとんど

## クラスターをどう見つけるか

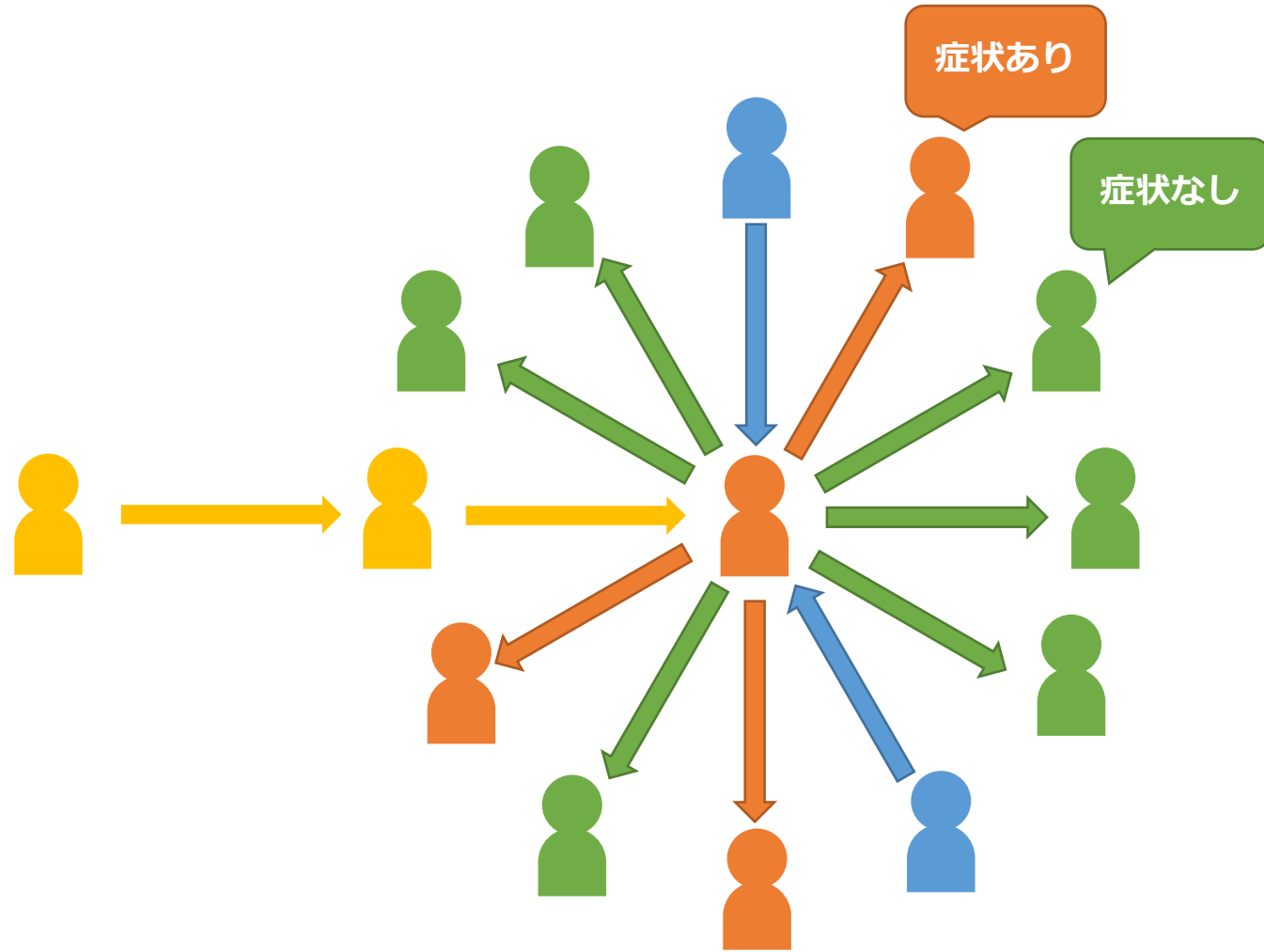
特に地域で複数の感染例が見つかった場合に、共通の感染源を「後ろ向きに探していく作業」が重要。



複数のリンクのない感染例の周囲には必ずクラスターがあるという前提でクラスターの感染源を探す。

## クラスターをどう見つけるか

特に地域で複数の感染例が見つかった場合に、共通の感染源を「後ろ向きに探していく作業」が重要



クラスターを形成する感染者をすべて検出し、症状のない人についても自宅待機を要請

重症化が懸念される、要介護高齢者の感染を最小限にとどめるためには、保健所と市区町村保険者と病院と介護事業者が早期に情報連携を密にとって、潜在的クラスターを検出し、クラスター感染の連鎖が発生することを防ぐ必要がある。

今後予想される  
クラスター感染の頻発を抑制するために  
介護事業者がおこなうべき行動



## 【クラスター感染の頻発を食い止めるために必要と考えられる事項】

全国各地で、医療機関、通所介護、通所リハビリを起源とした、クラスター感染と考えられる現象が発生しています。要介護高齢者の感染経路は、病院内の「利用者-利用者間感染」、通所介護等の「利用者-利用者間感染」の2つの経路が主要であると考えられます。クラスター感染の蔓延を回避するために下記の行動が必要であると考えます。

### (1) 医療との連携

各地域介護事業者団体等を通じて、保健所や病院、地域の医師会等と連携を図って対応することについて確認をします。

介護事業者は、個別の症状等観察により、感染が疑われるときに、迅速に医療連携ができるようにあらかじめ連絡経路を確保します。

感染経路を遡及し、潜在クラスターの存在を突き止め、早期に隔離することにより、地域の爆発的な患者急増（オーバーシュート）の防止行動に貢献します。

### (2) 感染症状の早期発見、早期の判断と対応

利用者体温把握、呼吸器症状の定常的把握、早期の発見と判断と対応

### (3) 感染事実の早期の開示と地域事業者連携の確保

地域の医療・介護事業者、居宅介護支援からの接触情報の早期開示・早期提供に関する事業者間の取り決めを行います。そして、利用者説明同意に基づいた感染者、濃厚接触者対応を行う必要があります。

## 【クラスター感染の頻発を食い止めるために必要と考えられる事項】

### （４）利用者の非接触区分、接触区分の明確化

利用者の非接触区分と接触区分を明確にして、サービスを提供します。接触区分として、（あ）感染者、（い）濃厚接触者、（う）感染可能性者と接触した可能性のある者、（お）濃厚接触可能性者と接触した可能性のある者、（か）非接触者と区分し、利用者それぞれの立場と状況を明確に説明し、それぞれの不安を取り除きます。論理的に明確に、感染可能性を説明することで、不安を解消し、利用者、利用者家族との関係を強めることが有効と考えます。

個別の利用者ごとの、接触経路に関する詳細な説明責任の履行により、利用者が比較的安定的に利用をされます。

### （５）標準予防策の徹底

各事業者が、標準予防策の徹底をします。そのためには、全国の通所介護等事業に従事する、すべての職員に向けて、全事業者が協力して、標準予防策の周知と徹底をする努力を行う必要があります。

各介護事業者協会等が標準予防策に関する動画配信などを行うことが考えられます。

政府広報、公共広告機構の広告などにより、医療者、介護者、利用者に向けた、標準予防策についての理解を高めることを要請する必要があります。

### （６）通所介護等、介護事業所への感染予防物品の優先的支給について

標準予防策のためには、感染予防物品の確保が大切です。

国、都道府県において、通所介護等、介護施設へのクラスター感染の回避のための活動同期を行い、マスク等感染予防物品の支給を優先的に受けることが考えられます。

## 参考文献

クラスター対応戦略の概要（2020年3月10日暫定版）日本公衆衛生学会感染症対策委員会（2020年3月21日アクセス）  
[https://www.jsph.jp/files/documents/COVID-19\\_031102.pdf](https://www.jsph.jp/files/documents/COVID-19_031102.pdf)

新型コロナウイルス感染症対策専門家会議「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」（2020年3月19日）（2020年3月21日アクセス）  
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000610566.pdf>

日本感染症学会 症例報告 高齢者向けサービス施設より高齢者とその家族に感染が広がった COVID-19 肺炎の 3 症例（2020年3月18日アクセス）  
[http://www.kansensho.or.jp/uploads/files/topics/2019ncov/covid19\\_casereport\\_200312\\_2.pdf](http://www.kansensho.or.jp/uploads/files/topics/2019ncov/covid19_casereport_200312_2.pdf)

新型コロナウイルス感染症に係る介護サービス事業所の人員基準等の臨時的な取扱いについて（第4報）事務連絡 令和2年3月6日（2020年3月18日アクセス）  
<https://www.mhlw.go.jp/content/000605436.pdf>

新型コロナウイルス感染症に係る介護サービス事業所の人員基準等の臨時的な取扱いについて（第2報）事務連絡 令和2年2月24日（2020年3月18日アクセス）  
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000599390.pdf>

一般社団法人日本環境感染学会「医療機関における新型コロナウイルス感染症への対応ガイド（第2版）」の公開について（2020年3月18日アクセス）  
[http://www.kankyokansen.org/modules/news/index.php?content\\_id=341](http://www.kankyokansen.org/modules/news/index.php?content_id=341)

ご参考資料

## 在宅介護のクラスター感染に関連した報道

通所介護、医療機関におけるクラスター感染を起源として感染伝播している事例

[社説] 介護現場の感染防止を全力で 2020/3/14 19:00768文字 [有料会員限定]

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO56809410U0A310C2SHF000/>

新型コロナウイルスの感染拡大で大きな影響を受けるのが、高齢者介護の現場だ。高齢者は持病を持つ人も多く、重症化するリスクが高い。感染を防ぎつつ必要な介護サービスが維持できるよう、事業者も行政もあらゆる知恵を絞ってほしい。

感染が相次いだのは、名古屋市の通所型の施設だ。入所型と異なり、人の出入りが多いことが背景にある。小規模な感染者集団「クラスター」が形成され、市は感染者が出た施設を含め計126カ所に2週間の休業を要請した。

ただ、ひとり暮らしや老々介護などで、サービスが欠かせない人もいる。このため規模を縮小して続けている事業者もある。休業要請の実効性を高めるには、一人ひとりの状況に応じた代替サービスの確保が不可欠だ。

デイサービスの職員が自宅を訪問する、訪問介護に切り替える。利用者の希望に応じてどのような選択肢があるのか、事業者はあらかじめ想定しておくことが重要だ。自治体もしっかりバックアップしてほしい。

特別養護老人ホームなど入所型の施設では、いかに外部からのウイルス侵入を防ぐかがカギとなる。家族の面会制限やボランティアの受け入れ停止のほか、業者からの物品搬入時にも気を配りたい。ワクチンも治療薬もないだけに、細心の注意が必要だ。

現場では、消毒用のアルコールやマスクなどの不足も目立っている。政府、自治体には優先的な供給を求めたい。今後は介護職員が出勤できなくなるケースが増えるかもしれない。介護難民が出ないよう、政府は現場任せにせずリーダーシップをとってほしい。

新型コロナウイルスの封じ込めは、予断を許さない。高齢者の家族も、サービスの休止や縮小があった場合に備え、仕事との両立策などをあらかじめ考えておく必要がある。行政が感染の広がりについての情報を、できる限り明確に開示することも、家族や事業者が備えるうえで役立つはずだ。

名古屋にクラスター 封じ込め一進一退:新型コロナ:中日新聞(CHUNICHI Web)

2020年3月14日 紙面から

<https://www.chunichi.co.jp/article/feature/coronavirus/list/CK2020031402000209.html>

新型コロナウイルスの感染拡大で、愛知県内の感染者数は、北海道に次いで全国二番目の多さとなっている。特に二つのクラスター（患者集団）が確認されている名古屋市では死者数も多く、市はクラスター封じ込めに躍起となっているが、その対策では一進一退が続く。

市内の感染者は十二日現在で八十九人で、県内の死者は全て同市から。クラスターは、スポーツクラブと高齢者向け福祉施設を中心に発生している。

二月十四、十五日にハワイから帰国した夫婦で初めて感染が確認されたのが発端。市は感染ルートを明らかにしていないが、市内にある四つのスポーツクラブが、感染者の利用を自主的に公表。その後の二週間で感染者は二十六人以上に達した。

ここ数日、スポーツクラブそのものからの感染者の確認はなくなっており、名古屋市の浅井清文保健所長は「クラスターとしては収束に向かっている」と手応えを感じている。

厚生労働省の専門家会議は、一人の感染者が複数人に感染させた事例として、ライブハウスなどとともにスポーツジムを挙げているが、感染のメカニズムは専門家会議も示しておらず、再発の可能性も拭き切れない。

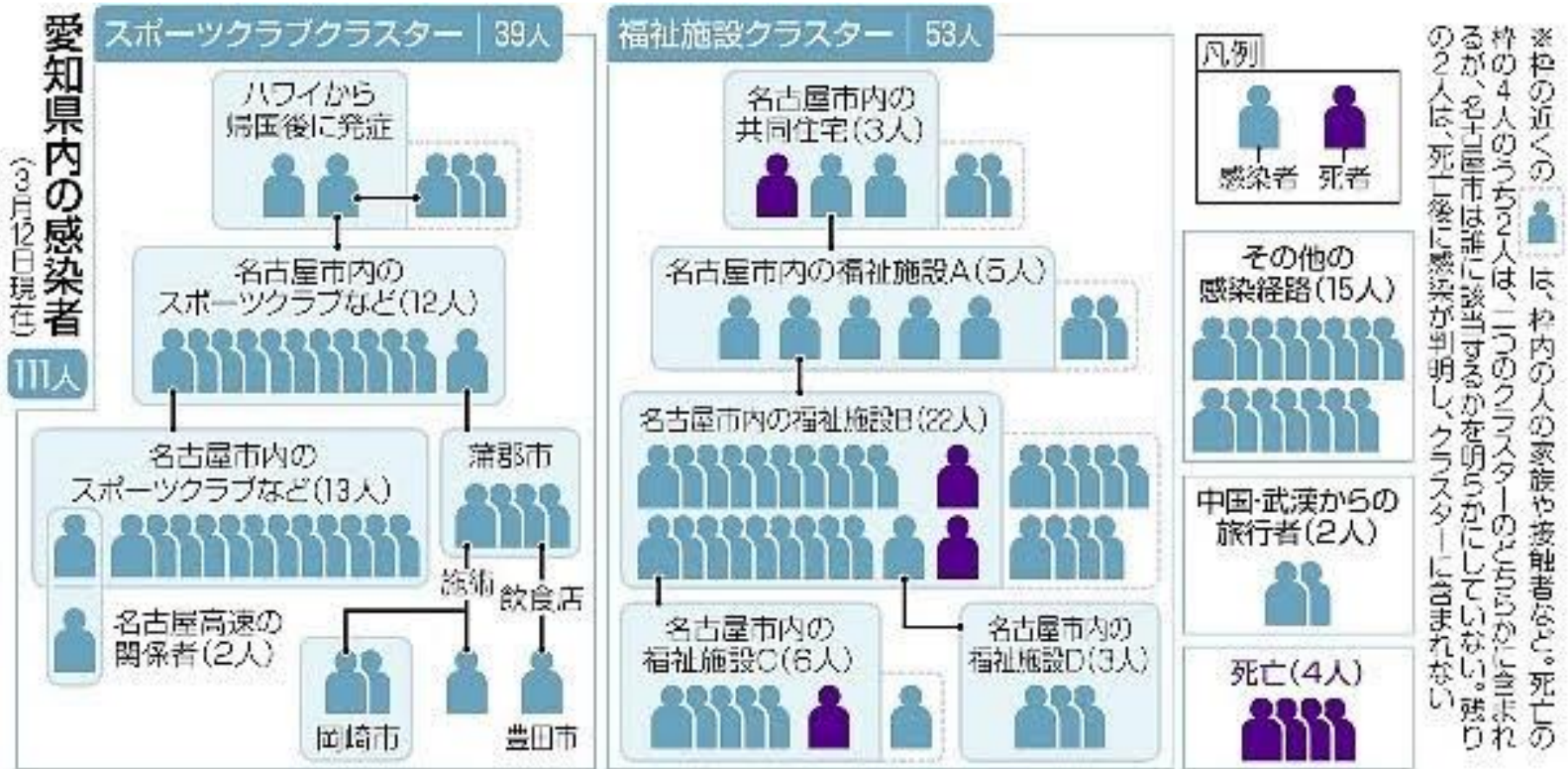
感染者の利用を公表したクラブの担当者は「いまだになぜ感染が広まったのかは分からない」と困惑。市内で別のフィットネスクラブを経営する男性によると、前の人に触れたトレーニング器具の取っ手などは、タオルで汗を拭き取ってから使うのが当たり前で「どちらかといえば衛生的」という。

もう一つのクラスター、デイサービスなどの福祉施設ルートでは、ほとんど歯止めがかかっていない。市内の共同住宅に入居する女性の感染が分かった二月二十九日以降、毎日のように感染者が確認され、二週間で五十三人にまで増えた。市は、市内の死者八人のうち、六人がこのクラスターに含まれることを明かしている。

高齢者施設のサービスに詳しい中部学院大の飯尾良英教授は「福祉施設では利用者を支えるために職員が体を触ることも多く、職員と利用者が濃厚接触せざるを得ない」と指摘する。耳の遠い利用者同士が接近して話すなど「感染者が一人いればウイルスは広まりやすい」と話す。

決定策はなく、名古屋市は感染が広がっているとして、同市緑区と南区のデイサービス施設に対し休業を要請している。

浅井保健所長は、福祉施設ルートについては「人の動きがかなり複雑で、（健康観察対象者の）人数もかなり多い」と、引き続き警戒している。



※枠の近くの人は、枠内の人の家族や接触者など。死亡の枠の4人のうち2人は、二つのクラスターのどちらかから含まれるが、名古屋市内は誰に該当するかを明らかにしていない。残りの2人は、死亡後に感染が判明し、クラスターに含まれない



デイサービス施設、クラスター相次ぐ 感染防止難しく

2020年3月11日 18:15

<https://r.nikkei.com/article/DGXMZO56669740R10C20A3CC1000>

通所型の介護施設で新型コロナウイルスの小規模な感染者集団「クラスター」が相次ぎ形成されている。愛知県では11日までに3施設に広がり、感染者数は45人に上った。高齢者は重症化するリスクが高いが独居や老々介護の利用者が行き場を失うとして休業に踏み切れない施設は対策に悩んでいる。

名古屋市では1日にデイサービス施設を利用していた80代女性の感染が分かり、3日には別の80代女性の陽性が判明した。この女性が利用していた別の施設にも感染が広がり、9日にはさらに別の施設で集団感染が明らかになった。

入所型と比べて人の出入りが多い通所型の施設の対策は難しい。名古屋市の施設関係者は「多くの利用者が自宅から通い、どんな経路でウイルスが入り込むか分からない」と明かす。兵庫県でも伊丹市のデイケア施設などで介護士や利用客の感染が確認されている。

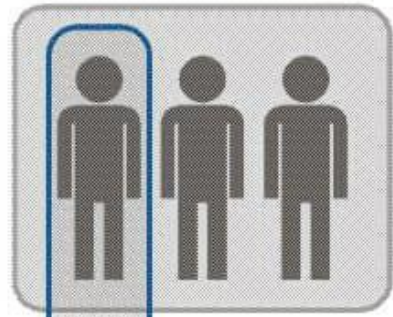
集団感染を防ぐため各自治体は感染が判明した施設に休業を要請している。名古屋市は感染者が出た施設を含め、市内の計126施設に7日から2週間の休業を要請した。対象のデイサービス利用者は約5800人に上っている。

だが、実際は多くの施設が利用者の受け入れを続けている。名古屋市によると、確認できた115施設のうち休業したのは60施設だった。受け入れている施設の管理者は「デイサービスは利用者にとって命綱だ。休業すれば受け皿がない」と説明する。一人暮らしで車いす生活の男性（72）は「自分では風呂も難しく、受け入れてくれて安心した」と話す。

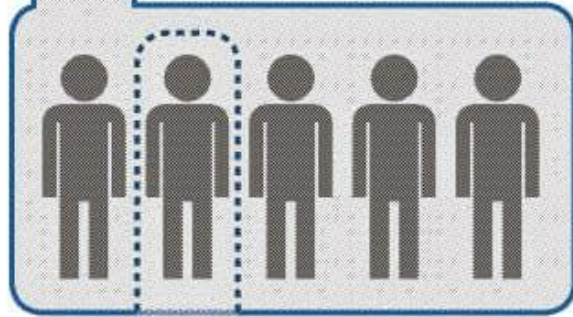
別の施設でも一人で入浴や食事ができない認知症の高齢者らに限り受け入れを続けている。名古屋市の担当者は「利用者の命を守るために休業に協力してほしいが、要請に強制力はなく判断は施設に委ねる」と話す。

淑徳大の結城康博教授（社会福祉学）は「感染拡大を防ぐために施設側は休業要請を受け入れるべきだが、国は高齢者が行き場を失わないようにデイサービス機能の代替策を早く講じなければならない」と指摘する。

# 名古屋市のデイサービスの感染状況 (10日現在)

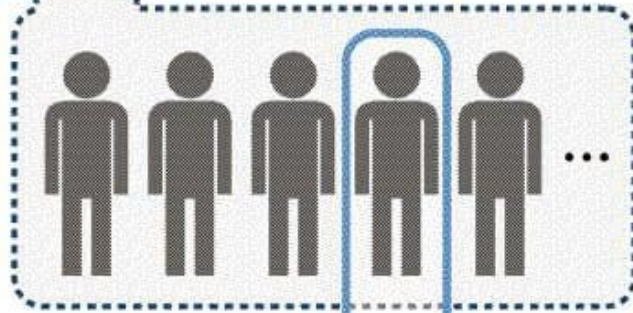


共同住宅で  
女性3人感染



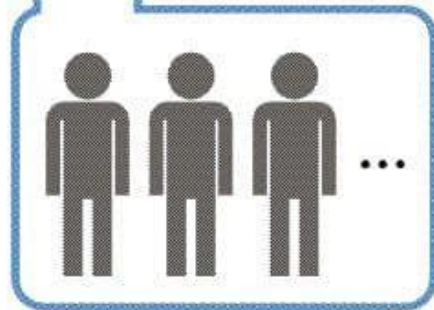
**施設A**

70~80代男女  
感染



**施設B**

40~90代男女  
20人感染



**施設C**

60~90代男女  
感染

[https://www.nikkansports.com.cdn.ampproject.org/v/s/www.nikkansports.com/m/general/nikkan/news/amp/202003140000022.html?usqp=mq331AQRKAGYAbSGmsKSvv3WoQGwASA%3D&js\\_v=0.1#origin=https://search.yahoo.co.jp&paddingTop=56&cap=swipe](https://www.nikkansports.com.cdn.ampproject.org/v/s/www.nikkansports.com/m/general/nikkan/news/amp/202003140000022.html?usqp=mq331AQRKAGYAbSGmsKSvv3WoQGwASA%3D&js_v=0.1#origin=https://search.yahoo.co.jp&paddingTop=56&cap=swipe)

国内の新型コロナウイルス感染では、「クラスター」という小規模な集団感染が各地に出現し、大きな課題になっている。北海道に次いで感染者が多い愛知県では主に2つのクラスターが発生し、そこを中心に連鎖が続いている。

愛知県の感染者111人（死者8人、3月12日）時点の関係性をみると、主に<1>スポーツクラブ、<2>デイサービスの2集団と、<3>その他・経路不明に分けられる。

<1>スポーツクラブ集団は、ハワイから帰国した名古屋市の60代夫婦から始まった。妻（2月15日判明）が利用したスポーツクラブAでは利用者10人が感染。うち2月19日判明の50代女性が感染を知らず利用した施設でも8人感染。帰国夫婦に関係する感染はこの時点で知人、家族など含め39人に上る。

<2>デイサービス集団は、名古屋市内で入院した70代女性が2月29日に判明したことがきっかけ。同居の1人が利用するデイサービスAで利用者5人が感染。うち80代女性（3月3日判明）が別の施設を利用し、さらにほかの施設利用者や家族ら接触者に広がった。県は10日夜時点でデイサービス関係の感染者を45人と発表している。

全体的に高齢者が多いが、家族に広がるケースも目立つ。政府専門家会議は、クラスター発生条件を▼換気悪い密閉空間▼人の密集▼手を伸ばして届く距離の会話、の3つが重なるとするが、愛知の状況もその条件を反映している。

名古屋市では健康観察対象が1000人に上る。南東部デイサービス126カ所（約5800人利用）に2週間の休業を要請。受け入れ可能な病床は限界で他自治体に協力要請している。

◆クラスター 小規模な感染者の集団を指す。新型コロナウイルスは感染者の8割はほかに感染させないが、残りの1部が周囲の多くに感染させている。クラスターの連鎖が続くと爆発的に拡散するため、厚労省は対策を重視。発生自治体にクラスター対策班を派遣している。

【小規模集団感染＝クラスター可能性例】（関連含む）

▼北海道札幌市のライブバー＝16人

▼北海道北見市の展示会＝14人

▼千葉県市川市のスポーツクラブ＝5人

▼東京都の屋形船＝20人超

▼クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」＝697人

▼新潟県新潟市の卓球教室＝12人

▼大阪市のライブハウス4カ所＝15都府県83人

▼兵庫県神戸市のこども園＝7人

▼兵庫県伊丹市のデイケア施設＝12人

▼和歌山県湯浅町の病院＝11人

中国・武漢からの観光客



1 ハワイから帰国の夫婦



知人



スポーツクラブC

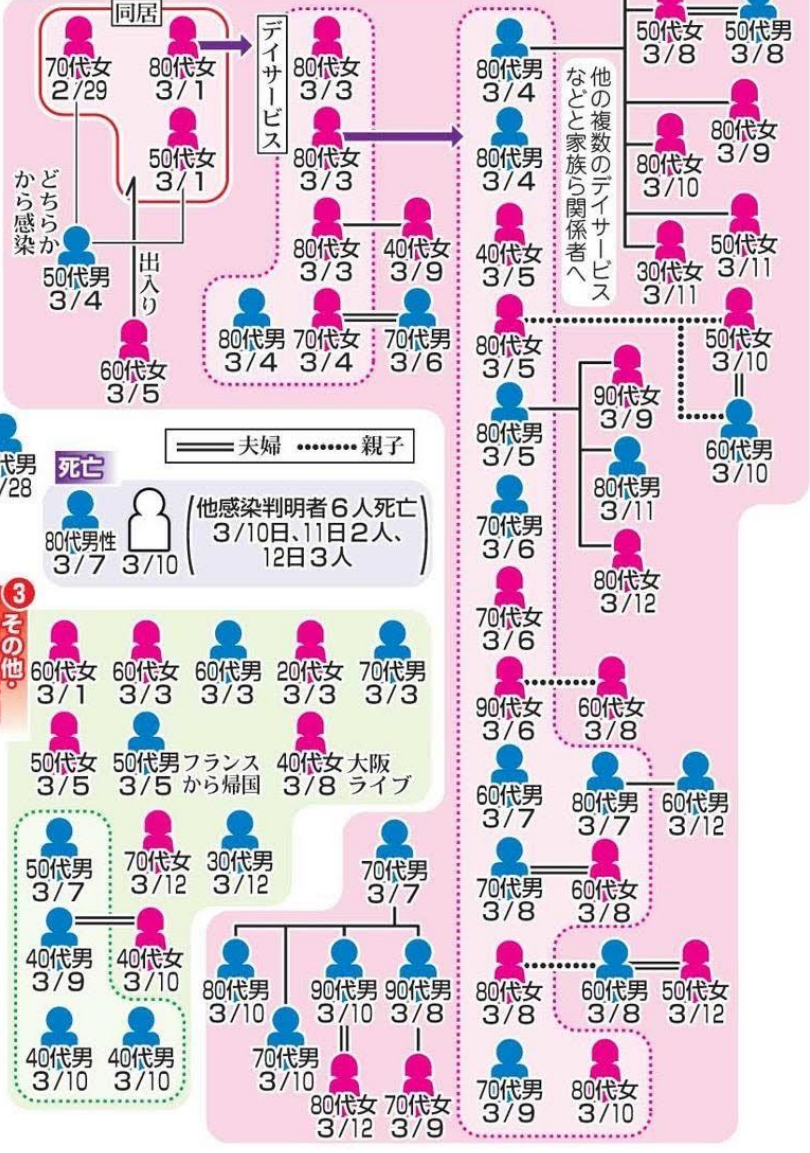
スポーツクラブA

スポーツクラブB

高速道路

2 デイサービス関係

愛知県の主な感染状況 (3月12日、111人時点)



死亡

80代男性 3/7 3/10 (他感染判明者6人死亡 3/10日、11日2人、12日3人)

3 その他 感染経路不明

60代女 3/1 60代女 3/3 60代男 3/3 20代女 3/3 70代男 3/3

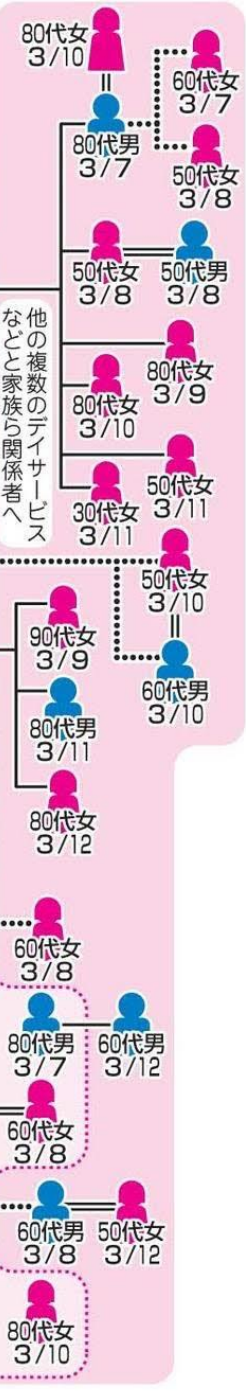
50代女 3/5 50代男 3/5 フランスから帰国 40代女 3/8 大阪ライブ

50代男 3/7 70代女 3/12 30代男 3/12 70代男 3/7

40代男 3/9 40代女 3/10 80代男 3/10 90代男 3/10 90代男 3/8

40代男 3/10 40代男 3/10 70代男 3/10 80代女 3/12 70代女 3/9

※愛知県、名古屋市の発表や取材などによる。日付は判明時



兵庫の死亡男性が感染判明 デイケア利用者 新型コロナ 関西 大阪 社会・暮らし2020/3/11 23:36

[https://www.nikkei.com/article/DGXMZO56691480R10C20A3AC8000/?n\\_cid=DSREA001](https://www.nikkei.com/article/DGXMZO56691480R10C20A3AC8000/?n_cid=DSREA001)

兵庫県は11日、高熱で入院後に死亡した同県宝塚市の80代男性が、死亡後に採取した検体の検査で新型コロナウイルス感染が分かったと発表した。複数の感染者が確認された同県伊丹市のデイケア施設「グリーンアルス伊丹」の利用者だった。他の公表分も含めて県内の感染確認は計37人となった。

11日までにグリーンアルス伊丹と系列施設の関係者、家族で感染したのは10人に上っている。県はクラスター（感染者の集団）の可能性があるとみている。

また、神戸市などは、市内の認定こども園「聖ニコラス天使園」の保育士ら職員4人が新たに新型コロナウイルスに感染したと発表。兵庫県姫路市でも同日、職員や患者の感染が既に複数確認されている仁恵病院の入院患者2人の感染が分かった。

神戸市によると、同園では9日に50代女性園長の感染が明らかになっている。11日に判明したのは20代と60代の女性保育士や、30代の女性事務職員。他に職員数人と園児約30人に風邪のような症状があるといい、検査を進める方針。市保健福祉局はクラスターの可能性が高いとしている。

姫路市によると、仁恵病院の70代男性患者は熱や倦怠（けんたい）感があり、70代女性もせきの症状がある。同病院では既に女性看護師2人と60代男性患者が陽性になっている。

同県尼崎市によると、同市居住で介護職の40代女性も感染が判明。女性は、10日に感染が分かったグリーンアルス伊丹に勤める50代男性介護士と同居している。〔共同〕

クラスター相次ぎ発生 地域医療の停滞懸念 新型コロナ 2020/3/12 09:18神戸新聞NEXT

<https://www.kobe-np.co.jp/news/sougou/202003/sp/0013186762.shtml>

兵庫県内で11日、新型コロナウイルスに感染した初の死亡者が確認された。亡くなった男性は複数の感染者が出ている伊丹市の介護施設を利用しており、ほかにも3施設で新たな感染が判明。「クラスター」（感染者集団）が相次ぎ発生しているとみられ、井戸敏三知事は「封じ込めなければならない」と強調。基幹病院である北播磨総合医療センター（小野市）は外来や入院受け付けを中止する事態となり、地域医療の停滞が懸念される。

亡くなった80代の男性が利用していた伊丹市の介護施設「グリーンアルス伊丹」は、これまでに施設職員やデイケア利用者、その家族らを含め、計10人が感染。

この日、ほかに発表された感染者は5人。このうち4人が北播磨総合医療センター、神戸市の認定こども園、姫路市の「仁恵（じんけい）病院」とすでに感染が確認された施設に勤めていた。

井戸知事は「どうしてこの4カ所で一挙に出てきたのか分からない」と困惑しつつ、「少なくとも感染源が特定されているということは、その源をしっかりと抑えればこれ以上感染していく可能性がなくなる。クラスターらしき塊をしっかりと封じ込めて、対応を続けていく」と強調した。

北播磨総合医療センターでも同日夜、栗野孝次郎副院長らが会見。「今後さらに院内感染や感染が広がる可能性は否定できない」として患者の受け入れ中止を発表した。

10日に常勤医師1人が感染した際は「地域医療を支える役割がある」として、従来通りの診療を継続する方針を発表していたが、新たな感染者判明を受けて、「地域医療よりも院内感染の防止を優先した」と判断を一転。「院内の患者に感染を広げてしまいかねず、申し訳ない」と謝罪した。

同センターでは今後、厚生労働省の院内感染の専門家チームから指導を受けて対策を取るという。また、外来患者と患者搬送の受け入れなどは少なくとも12日から25日まで中止し、退院の延期なども行う。化学療法や放射線治療などが必要なケースは治療を受け付けるという。

地域の中心的存在である同センター。今後の対応については「地域の3病院と話し合いたい」と話すにとどめた。